

⑦ 特別支援教育について

町田市の特別支援教育

○特別支援教育とは…

一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び支援を行うものです。

○町田市の特別支援学級

【固定制の知的障がい学級】	市内小学校	20校に設置
【固定制の自閉症・情緒障がい学級】	市内小学校	6校に設置
【固定制の肢体不自由学級】	市内小学校	1校に設置

○巡回指導を行う学級（※巡回指導…各校に教員が来て指導する制度）

【言語障がい学級】 【難聴学級】 【弱視学級】

1 「ことばの教室」とは

町田市立小学校の通常の学級に在籍し、通常の学級での学習が可能なものの、話しことば（発音や話し方）に誤りや歪みがあったり、吃音により会話がうまくできなかつたりする児童がいます。

そうした児童に対して、その改善をはかるとともに、二次的な問題をできるだけ取り除き、いきいきと学校生活に適應できるように支援する教室です。

原則として、週1回の指導となります。

※「ことばの教室」の担任が児童の在籍校へ巡回訪問して、個別指導を行います。
町田第四小学校、成瀬中央小学校に設置されています。

2 「きこえの教室」とは

町田市立小学校の通常の学級に在籍し、通常の学級での学習が可能なものの、耳の聞こえが不自由な児童がよりよい学校生活を過ごせるよう学ぶところです。

※「きこえの教室」の担任が児童の在籍校へ巡回訪問して、個別指導を行います。
南第三小学校、山崎小学校に設置されています。

3 「ひとみの教室」とは

町田市立小学校の通常の学級に在籍し、通常の学級での学習が可能なものの、治療しても、眼鏡をかけても十分な視力を得ることができなかつたり、手先を使う作業やボール遊びなどで遠近感や立体感を必要とする動作が苦手であつたりする児童のために指導や助言を行い、よりよい学校生活を送ることができるよう支援する教室です。

原則として、週1回の指導となります。

※「ひとみの教室」の担任が児童の在籍校へ巡回訪問して、個別指導を行います。
南第三小学校に設置されています。

⑧ 知的障がい特別支援学級（あおば学級）について

本校の知的障がいの特別支援学級の名前は「あおば学級」です。

1～6年生まで11名の子供たちが在籍しています。担任は3名です。（2026年1月現在）

1 目標

小山中央小学校の教育目標を受けて、あおば学級の目標は以下のようになっています。

- ・楽しく学習する子供（基礎学力）
- ・みんなと協力する子供（社会参加）
- ・生き生き元気な子供（健康な身体）

子供一人一人の特性や課題を考慮し、教育活動に取り組みます。生活の自立に必要な知識や技能などの力を身に付け、将来の社会参加につなげていきます。

2 学習内容や形態

通常学級と同じ教科や領域のもの（国語、算数、体育、音楽、図工、道徳、学級活動、総合的な学習の時間）と通常学級の教科や領域にはないもの（日常生活の指導、生活単元学習）があります。

教科や学習内容などに合わせていろいろな学習形態をとっており、大きく分けて以下の3つがあります。

- ・一人一人の課題に応じた学習（3～6名程度のグループ学習及び個別学習）
- ・あおば学級の児童全員で学習する（小集団での学習）
- ・通常の学級の子供たちと共に学習する（交流及び共同学習）

3 交流及び共同学習

特別支援学級の子供たちそれぞれに交流学級が決まっています。朝の会、日常的な交流学級での活動のほか、運動会や校外学習などの行事、なかよし（縦割り）班、クラブや委員会活動など学年や学校全体の活動などを一緒に行っています。

共に生活し、学習する中で、互いを理解し、同じ小山中央小学校の仲間として、子供たちが学び合い、育ってほしいと思います。

⑨ 自閉症・情緒障がい特別支援学級（きらり学級）について

令和3年度に新設された自閉症・情緒障がいの特別支援学級の名前は、「きらり学級」です。

自閉症・情緒障がいの特別支援学級は、小山・相原地区に1校の設置ですので、通学区域は、小山小、小山ヶ丘小、小山中央小、相原小、大戸小の5校が対象となっています。

今年度は、1年生から6年生まで19名が在籍し、担任は4名です。

1 目標

小山中央小学校の教育目標を受けて、きらり学級の目標は以下のようになっています。

- ・楽しく学習する子（基礎学力）
- ・みんなと協力する子（社会参加）
- ・生き生き元気な子（健康な身体）

2 学習内容や形態

通常学級と同じ教科や領域のもの（国語、算数、生活、理科、社会、体育、音楽、図工、家庭科、道徳、学級活動、総合的な学習の時間）と、通常学級の教科や領域にはないもの（自立活動）があります。教科や学習内容などに合わせていろいろな学習形態をとっており、大きく分けて以下の3つがあります。

- ・複式の学年構成により、各教科の当該学年の内容を学習する。
（2～3学年、2～8名までの少人数グループ）
- ・きらり学級の児童全体で学習する。
（課題によって、途中から低学年と高学年に分かれる事がある。）
- ・通常の学級の児童と共に学習する。（交流及び共同学習）

3 交流及び共同学習

特別支援学級の子供たちそれぞれに交流学級が決まっています。朝の会、交流給食など日常的な交流学級での活動のほか、運動会や校外学習などの行事、なかよし（縦割り）班、クラブや委員会活動など学年や学校全体の活動などを一緒に行っています。また、きらり学級の少人数グループでは経験しづらい共同的授業や体験活動に、児童本人の希望や実態に応じて、保護者と相談の上で参加することもあります。

共に生活し、学習する中で、互いを理解し、同じ小山中央小学校の仲間として、子供たちが学び合い、育ってほしいと願っています。

⑩ 特別支援教室（サポートルーム）について

1 サポートルームとは

通常の教室に在籍し、学習に概ね参加できるものの、情緒面や社会性、認知面に困難がある児童に対して、その困難や課題を取り除いたり、軽減したりして、生き生きと学校生活に適應できるように支援する教室です。

2 指導の形態と内容

○指導形態

・個別指導・小集団活動をあわせて 週 1 回 1～2 時間

○指導期間

・原則1年間で退級となります。

○内容

- ・コミュニケーションの力を身に付けます。
- ・個別指導、小集団活動を通して、基本的な学習態勢を身に付けます。
- ・ソーシャルスキル・トレーニングを通して、問題解決の方法や、自分の気持ちや行動をコントロールする方法を身に付けます。
- ・手先の巧緻性・身体感覚を養います。
- ・自分の特性を知り、自分にとって必要な支援を受けたり求めたりする力を身に付けます。

ご相談のある方は下記にご連絡ください。

連絡先：042-798-0673（サポートルーム）

